

令和6年度入試（令和5年度実施）の情報開示  
解答例について

入試の区分	一般選抜（前期日程）
学部学科等	人文学部・教育学部
教科・科目名	国語／国語総合
正解・解答例 又は出題 （面接）意図	(解答例)  別紙のとおり
備 考	

1 解答例

問1 (ア) 遜色 (イ) きわだ

問2 素晴らしい

問3 a イ, b イ, c ア, d イ, e イ, f ア, g イ

問4 イ エ (順不同)

問5 環境音は自然に発生した音であるのに対し、典型的な音楽は人が何らかの目的をもって音を並べた、コントロールされたものであること。

(別解) 作曲者や演奏者といった人の介入があるかどうか、そして、人が目的をもって発生させた音だと容易に気づくことができるかどうかの違い。

問6 目的に対する理解や同意がなくとも、それが何らかの目的に沿って人工的に創られたものであることがわかること。

問7 記述的な意味での音楽と音楽でないものの間に境界線を引くことができなくとも、その違いは人が作為したものか否かにあり、人が創作したものは、その目的に関わらず、人の聴覚には音楽として受け取られる。

## 2 解答例

問1 (ア) 律儀 (「律義」も正解) (イ) 匿 (ウ) 負債

問2 「現代川柳」とすると、現代の現象について綴られた川柳であろうという誤解や、現代に書かれた川柳はすべてそう呼ばれるのではないかという誤解を招く可能性があり、名称とその対象とが必ずしも一致していないから。

(別解)「現代川柳」とは革新的な工夫がなされているものだが、一般的には、現代の現象について綴られた川柳であろうという誤解や、現代に書かれた川柳はすべてそう呼ばれるのではないかという誤解を招く可能性があるから。

問3 読み手の無理解に晒(さら)されることを恐れず、現代川柳には興味がない読者にも作品に触れてもらおうとする意欲。

問4 詩と関連づけて川柳を説明するのは、「詩」を川柳より高みに置いてその威光を利用するという点において、川柳そのものの価値を損なう(／川柳の独自性を軽視する)ものだから。

問5 言葉を川柳の中で使うとき、その言葉の持つ本来の意味やイメージ、価値が大きく変容し、それまでとは異なる意味が創造される必要があるということ。

問6 川柳とは、私たちが抱いている言葉の意味やものの価値観を大きく変容させることで、それまでの認識に揺さぶりをかけ、異なる見方を提示しようとする試みであるということ。

3 解答例

問1 (a) 柿の木

(b) 裂けたところに「天下」という文字があらわれているから。

問2 柿の木に字があらわれることは古書にも書かれていて、若木の頃に竹や木のようなもので字を刻めば、木が成長するにつれて樹脂が固まり、字があらわれるのは珍しいことではないから。

問3 書かれている紙が日本で生産されたものであるので、異国（／中国）のものではないと推察されるから。

問4 ④ご覧になったことがございますか。

⑤どういうわけで人間界の書ではない（／人の書いたものではない）とご覧になるのですか（／思われるのですか）。

問5 (a) 徳川家宣

(b) 異界に通じたとでもいうべき者であるなあ